

ショッピングカート メロディ トートグレイス

[取扱説明書] [保管用]

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

⚠ この製品は、お買い物に使用するショッピングカートです。

歩行を補助するシルバーカーではありません。手すりなどに、つかまらなければ自立歩行ができない人のご使用には適しません。

ご使用になる前に、この取扱説明書の内容をよくお読みいただき、十分ご理解された上で、ご使用ください。

目 次

ご使用の前に	1	4. 駐車用ストップの操作方法	4
警告事項	1	5. キャスターの操作方法	5
注意事項	1	6. バッグの取り付け方法	5
ご使用上の注意	2	7. バッグの使用について	6
1. 各部の名称	3	8. 傘止めバンドの使用方法	6
2. 高さ調節と収納方法	3	故障かなと思ったら	6
3. 使用方法	4	保証書	7

製品に不具合が発生した場合、まずはご購入販売店に連絡してください。

島製作所 お問い合わせ窓口 TEL:050-3385-7668 mail:shima@bi.mbn.or.jp
受付時間：9:00～17:00 土、日、祝日休み

ご使用の前に

必ずお読みください。

体の状態によっては、危険な場合もありますので、使用できるかを、ご自身でご判断ください。

転倒や故障防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

⚠ 警告事項 転倒など、重大な事故につながる恐れがあります。

- この製品はショッピングカートです。歩行を補助するシルバーカーではありません。
- 雨・雪・凍結など、滑りやすい所では使用しないでください。
- 交通量の多い所、混雑している所、及び、夜間に使用される際は、十分注意してください。
- 走って使用しないでください。転倒や事故につながる恐れがあり、大変危険です。
- 不整地でのご使用、段差や溝などに車輪がはまってしまうと、転倒する恐れがありますので、段差の手前では、必ず一旦止まり、十分注意して慎重に段差等を越えてください。
- 踏切を横断する場合、段差に十分注意してください。特に、警報機が鳴ったときに、慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、タイヤが線路に沿って侵入することはせず、直進走行をしてください。斜めに侵入する必要がある場合は、車体を持ち上げて横断してください。
- エスカレーターで移動の際は、車体の置く場所に注意し、落下する事がないよう、ハンドルから手を離さないでください。
- 階段や段差のある所での**引き下ろし**をしないでください。車輪やキャスターが破損し、転倒する恐れがあります。
- ハンドルの高さ調節部(左右)が、確実に固定されているか確認してください。ハンドルが、正しく固定されていないと、ハンドルの上から力を加えたとき、不意に縮んでしまい、大変危険です。
- ハンドルに寄りかかったり、荷物を吊るすなど、過度の荷重をかけると、車体だけが前に動き、転倒する恐れがあります。
- 乳幼児や子供に操作をさせないでください。
- 乳幼児や子供の手の届く所に放置しないでください。



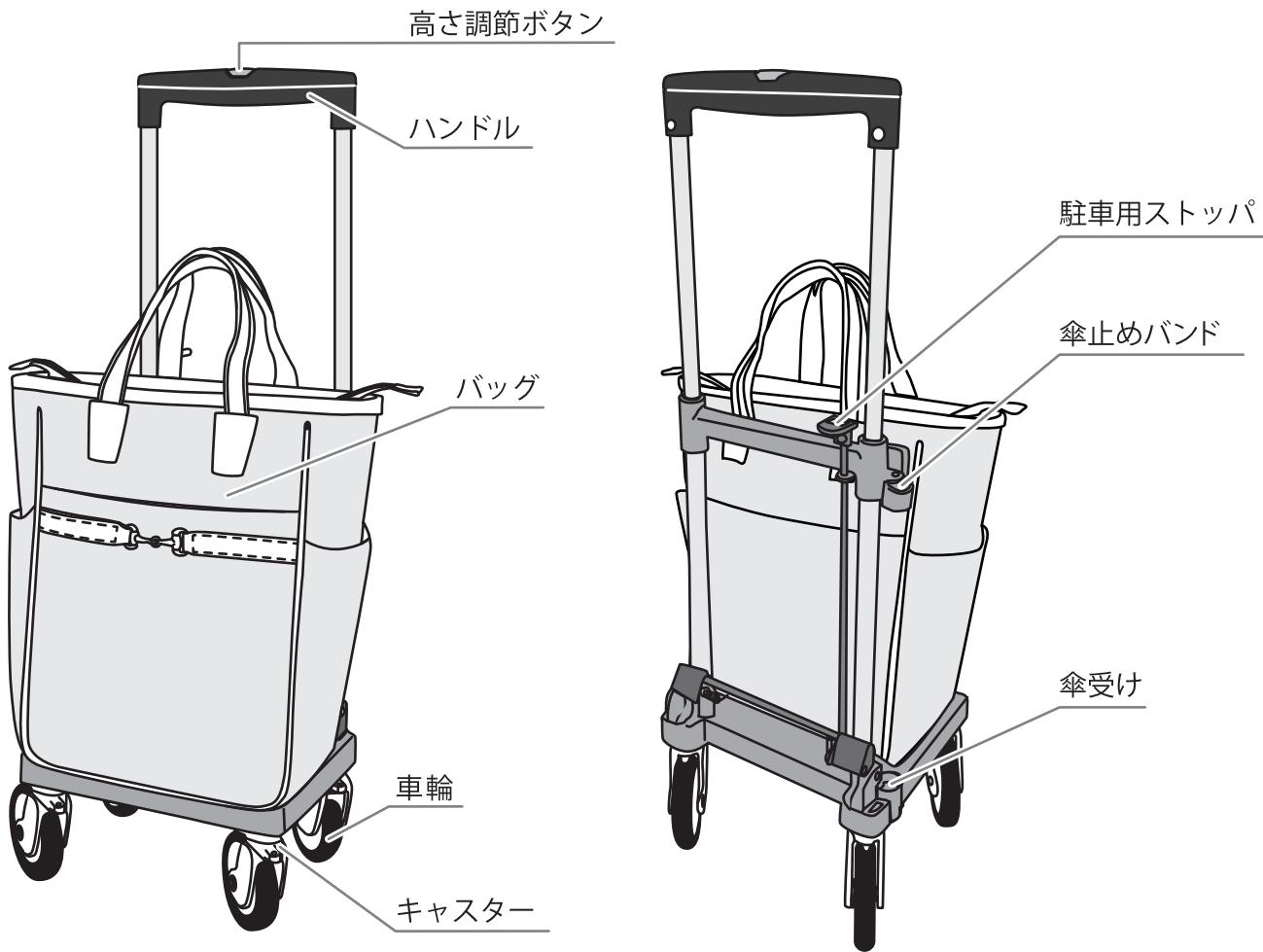
⚠ 注意事項 思わぬケガをする恐れがあります。

- 使用前は製品各部を点検してください。
- 用途以外（例えば、踏み台・いすなど）に使用しないでください。
- 本製品は四輪走行を主とした使用方法で作られています。二輪走行も可能ですが、車輪の片寄った摩耗や車体の破損につながる可能性がありますので、できる限り四輪走行でご使用ください。
- 片寄って荷物を入れると、バランスが悪くなり、転倒する恐れがあります。
- 弊社サービス員以外の分解・改造はしないでください。

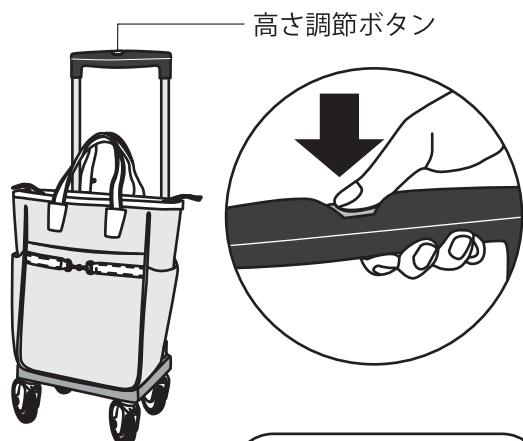
ご使用上の注意 必ずお読みください。

- [点検]
- 駐車用ストッパの性能、車輪の摩耗、製品を押したときのグラつきなどがないか点検し、組み立て、調整を確実に行ってください。
 - 製品各部をご自身で、十分点検してください。
 - 車輪の摩耗等がないか点検し、必要に応じて交換をご購入販売店に依頼してください。
 - 定期的に各部のリベット・ネジなどが、緩んでいないかを確認してください。
- [使用]
- 車体から離れるときは、水平な所で、駐車用ストッパを必ず下げる、ロック状態にしてください。
 - 坂道での駐車用ストッパのご使用は、十分注意してください。（坂道で駐車用ストッパを使用されても、車体が転倒する恐れがあるため、車体から離れないでください）
 - 操作時には乳幼児や子供を近づけないでください。
 - バッグに荷物を入れる際は **7. バッグの使用について** を参照してください。
 - ハンドルなどに荷物を吊るしたりしないでください。
 - 乳幼児・子供・動物をバッグに乗せないでください。また、ペットを本体につないで使用しないでください。
 - 階段や段差のある所を移動する場合は、段差部分に車輪やキャスターがぶつかり、破損する恐れがあるため、十分注意し、持ち上げるなどしてください。
 - ハンドルに過度に体重をかけると、転倒する危険性があるため、ご注意ください。
 - 左右の高さ調節部のピンが確実に固定されているかご確認ください。（正しく固定されていないと、不意にハンドルが縮み、そのはずみで転倒する恐れがあり、危険です）
 - ハンドルを収納するときは、指を挟まないように注意してください。
 - 火気の近くでは使用しないでください。（樹脂が変形し、性能を維持できなくなります）
 - 航空機内への持込みは、各航空会社へお問い合わせください。
 - 製品を倒すと、キャスター等の樹脂パーツが破損することがありますので、ご注意ください。
- [使用後]
- この製品は防水加工されていませんので、雨の中に放置することは避けてください。（長時間の放置や、雨ざらしにされますと、サビや劣化、破損の原因となります）
 - 製品が濡れたときは、乾いた布で拭き取ってください。
 - 砂や泥などで汚れた場合は、そのまま放置せずに、必ず汚れを拭き取ってください。
 - バッグの汚れは、柔らかい布で拭いてください。
 - シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。
 - 車輪や車体がきしむときは、ほこりや汚れを拭き取ってから、連結部等に潤滑油を数滴させてください。注油後、動作確認を2～3回繰り返し、きしみがないか確認してください。
 - 駐車用ストッパをかけた状態で保管された場合は、車輪が凹んでしまう恐れがありますので、ストッパをかけない状態での保管をお薦めします。
 - バッグ部分が合成皮革の場合、年月の経過と共にベタつき、剥がれ等の劣化が発生する場合がございます。
- [保全]
- 火気の近く、高温多湿の場所での保管は避けてください。
 - 非常口・消火器・消火栓の前に放置しないでください。
 - 素材の特性上、太陽光や照明に長期間照射すると変色する場合がございます。光が直接当たる場所を避け保管してください。
 - 取扱説明書は大切に保管してください。
- [廃棄]
- 各自治体の指示に従って、処分・廃棄してください。

1. 各部の名称



2. 高さ調節と収納方法



ハンドル収納時の状態



ハンドルの高さ(5段階)

- | | | |
|---|-----|--|
| ↑ | 高 | ・約 84 cm
・約 80 cm
・約 76 cm
・約 72 cm |
| ↓ | 低 | ・約 68 cm |
| | 収納時 | ・約 59 cm |

注

ハンドルが正しく固定されていないと、上から力を加えたとき、不意に縮んでしまい、大変危険です。

ハンドル収納時

高さ調節ボタンを深く押し、ハンドルを一番下まで押し込み、カチッと音が鳴ることを確認してください。

3. 使用方法

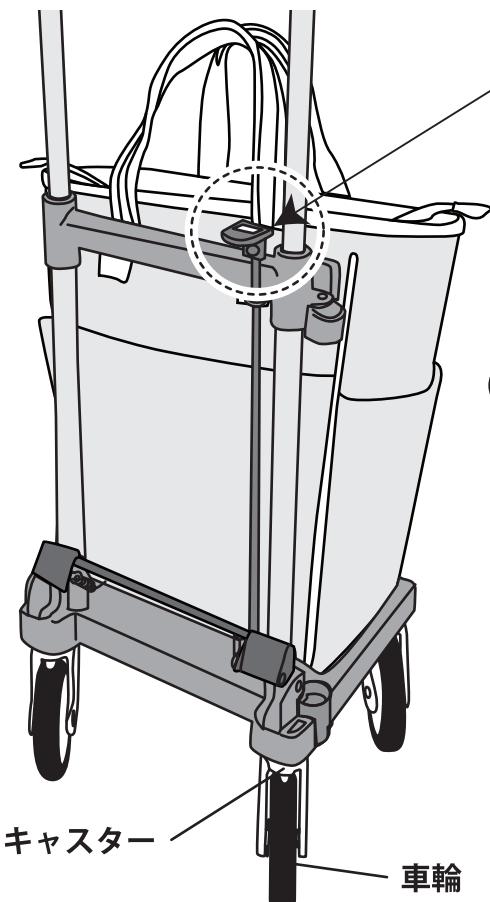


四輪を接地させ、体の斜め前で押す形でご使用ください。

注 ● 二輪で引く形でのご使用も可能ですが、片寄った車輪の摩耗につながりますので、できる限り、四輪での使用をお願いします。

- 二輪で走行する場合、バッグや樹脂パーツが路面に触れ、破れたり、破損する場合があるため、注意してください。
- 交通量の多い所、混雑している所、及び、夜間でのご使用は十分注意してください。
- 転倒する危険性があるため、ハンドルに過度な荷重をかけないでください。
- 雨・雪・凍結など、滑りやすい所では使用しないでください。
- バッグの持ち手を使って、車体を移動させないでください。車体の移動はハンドルを使って動かしてください。
※ バッグを取り外す際は、持ち手を引っ張るのではなく、バッグ本体を持ち、外すことをお薦めします。

4. 駐車用ストッパの操作方法



荷物の出し入れなど、車体を止めるときは、車体の背面についている**駐車用ストッパ**を必ず下げるロック状態にしてください。背面側の車輪にロックがかかります。（前面の車輪にはロックはかかりません）

駐車用ストッパを上にあげると、背面側の車輪にかかるロックが解除され、フリー走行でご使用になります。

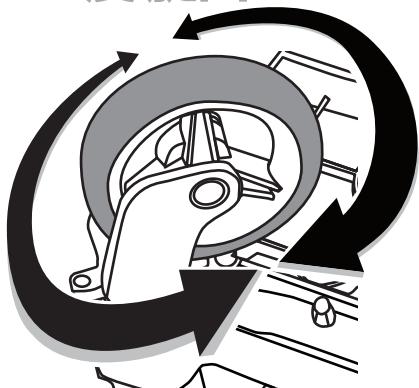
- 注** ● 水平な地面でご使用ください。
- **駐車用ストッパ**は、車輪の回転のみが固定されます。キャスターの旋回は固定されませんので、注意してご使用ください。
 - 走行時は**駐車用ストッパ**を上げてご使用ください。
(駐車用ストッパをかけたまま、使用されると、車輪が変形する原因となります)
 - 坂道で**駐車用ストッパ**をかける際は、車体が倒れる恐れがあるため、車体から離れないでください。

5. キャスターの操作方法

四輪とも360度で旋回するキャスターです。

二輪で引いて使用することも可能ですが、できる限り四輪での走行をお願いします。

360度旋回

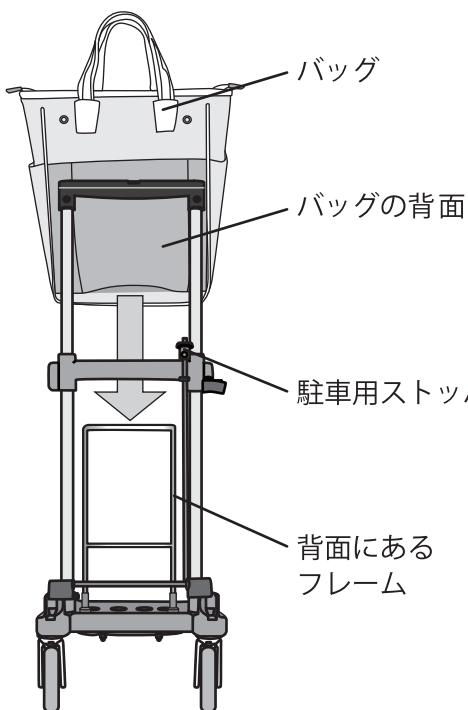


注

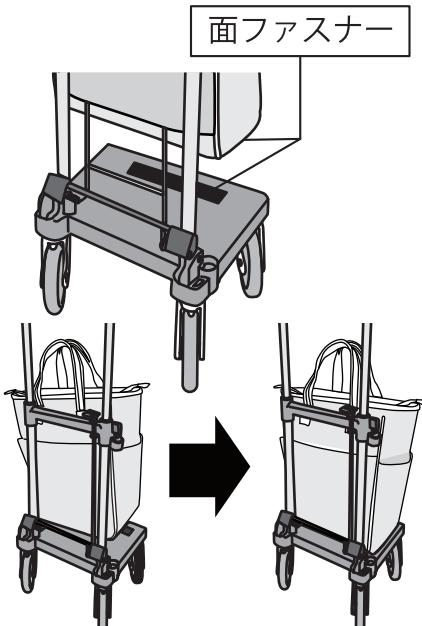
- 二輪で走行をする場合、バッグや樹脂パーツが路面に触れ、破れたり、破損する場合があるため、注意してください。
- 二輪での走行に片寄ると、車輪の片寄った摩耗につながり、四輪での走行が、しにくくなる場合があります。
- 破損等で、キャスターを交換する際、ご購入販売店へお問い合わせください。
※ 車輪の交換はキャスター一式の交換となります。

6. バッグの取り付け方法

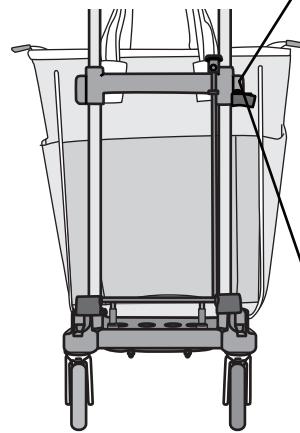
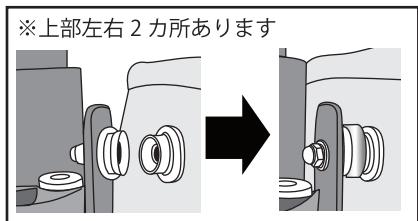
1. 駐車用ストップをかけ、本体の背面にあるフレームにバッグの背面を差し込みます。



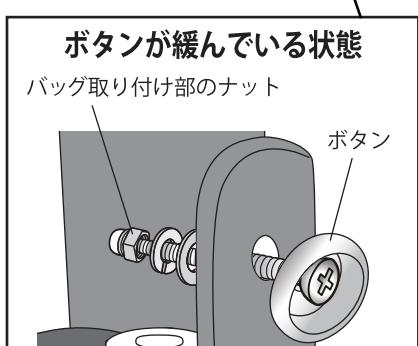
2. バッグ底部についている面ファスナーと、台座の面ファスナーがしっかりとくっついているか確認してください。



3. 最後に、左右にあるバッグ上部にあるボタンをイラストを参照し、留めてください。



- 注
- 面ファスナーに、ほこりなどが付くと、外れやすくなりますので注意してください。
 - 荷物が入った状態での、バッグの取り外しはお薦め致しません。
 - 何度もバッグの取り付け、取り外しをされると、面ファスナーが弱くなる恐れがあります。
 - バッグが確実に取り付けられているか確認してください。
 - ボタンが緩んでいる場合は、バッグ取り付け部のナットを固定してドライバーでネジを締めてください。



7. バッグの使用について

バッグに物を入れるときは、使用方法によっては、バランスが悪くなり、転倒する恐れがありますので、以下のことを必ず守ってください。

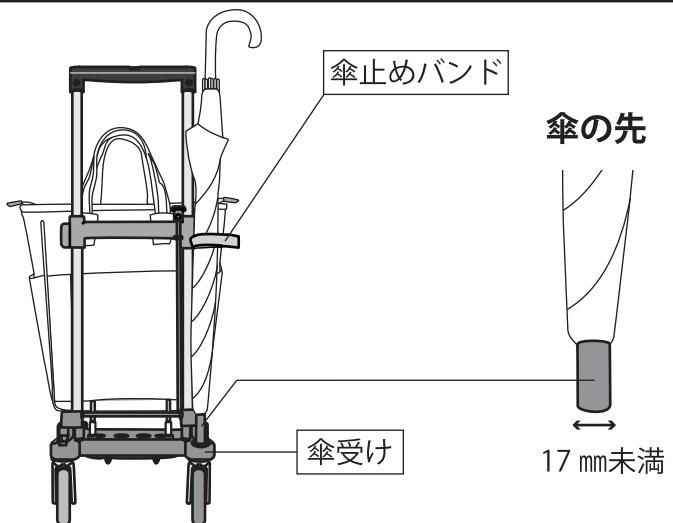


- 8kgを超える重さの荷物を、入れないでください。
- 荷物はバッグの重心を保つために、底部から収納し、片寄って入れないようにしてください。

8. 傘止めバンドの使用方法

本体背面の右側にある傘受けに、
傘の先端を置き、
パイプ上部に付いている
傘止めバンドで、
傘を固定してください。

使用例



- 傘の先端の直径が17mm以上のものはご使用になれませんので、注意してください。

故障かなと思ったら…

状況	原因	対処方法
ハンドルがグラグラと動く	① ハンドルの高さ調節部がきちんと固定されていない	① 取扱説明書の 2.高さ調節と収納方法 をお読みになり、確実に高さ調節を行ってください
駐車用ストッパーが利かない	① バネの劣化 ② 車輪の摩耗、破損 ③ 連結部のサビ	① バネの交換（ご購入販売店に依頼） ② 車輪の交換（ご購入販売店に依頼） ③ 潤滑油を注油する
キャスターが回転しない	① キャスターの回転軸に、土や砂が混入 ② キャスターの破損	① キャスターを手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに潤滑油をさしてください ② キャスターの交換（ご購入販売店に依頼）
その他、車輪や車体の破損・異常が発生した場合、そのままご使用にならず、ご購入販売店に点検・修理・パーツの交換を依頼してください。		

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

※取扱説明書に使用されているイラストは、説明をわかりやすくするための物ですので、現物とは多少異なることがあります。

MADE IN VIETNAM 24.08